

日本共産党 日立市議団ニュース

No. 29 2004年4月22日

発行 日本共産党日立市議団

連絡先 日本共産党北部地区委員会

日立市石名坂町 1525-21/ (53)8501

日立電鉄線存続を 日本共産党富樫練三参議院議員とともに

4月20日(火)、日本共産党の大内久美子県会議員、小林真美子市議、宇野隆子常陸太田市議、藤田邦良党北部地区副委員長など6人で、参議院会館の日本共産党富樫練三参議院議員を訪ね、日立電鉄線存続について話し合いました。

当日は委員会のため議員秘書の阿部氏が対応してくれました。国土交通省鉄道局の二人の幹部と、今後の廃止までの手続きや存続の方法などについて対談しました。

幹部は、私鉄廃止の動きに地域が立ち上がり存続の方向となっているさんぎ鉄道などの事例を示して、国は安全運行のための整備等について資金援助をすると説明しました。大内久美子県議は、バスの代替輸送は渋滞をひどくするなどの理由から不可能であり、廃止手続きのため五月下旬に公開される関係自治体と利害関係人の意見聴取の傍聴や、関東運輸局と日立市長等へ存続申し入れをして、日立電鉄線を存続させたいと話しました。

《廃止届け出受理後の国がおこなう意見聴取について》

5月下旬頃に、関係自治体および利害関係人への意見聴取をします。国が「住民の足の確保のための調整」するためおこなうもので、公示後10日以内に陳述の届け出をした者が利害関係人として意見を述べることができます。代替交通等整備ができている場合、期限を繰り上げて廃止できます。その逆に延期もできるとのことでした。

日本共産党北部地区委員会ホームページは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku>です。

「日立市議団ニュース」のバックナンバーもご覧いただけます。

ご意見、ご感想をお寄せ下さい。